

2015年の初日の出。
研修センター屋上から撮影。

あじけん通信

2015 JANUARY
VOL.85

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

新年明けましておめでとうございます。

平成27年が、いよいよ始まりました。当センターでは、年末年始にかけて、100名超の実習生の皆さんが、年を越し、新年を迎えましたが、アジ研のお正月休みは元日（1月1日）のみ！実習生の皆さんは、新年早々2日から、日本語学習に励んでいます。これまでのところ、風邪などで大きく体調を崩す実習生もなく、皆さん順調に新年をスタートさせております。お蔭様で、日本語講師・スタッフ一同も、無事新しい年を迎えることが出来ました。本年も、実習生の皆さんが、安全かつ円滑に、日本での技能実習に取り組めるために、日本語教育を通して貢献できることは何かを常に考え、誠心誠意サポートさせて頂きたいと考えておりますので、本校での日本語教育に対するご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

あじけんスコープ

Vol.29



今月は、現在、各教室で毎朝行なわれている「ラジオ体操」の様子をご紹介します。本校で学ぶ実習生の皆さんの大半は、技能実習が始まれば体を動かす職業に従事します。しかし、座学が中心の日本語講習では、1日8時間イスに座りっぱなし。そこで、「毎日、少しでもいいから、授業に体を動かす機会を取り入れられないだろうか」という思いから考え出されたのが、毎朝のラジオ体操。実際に取り入れてみると、ラジオ体操は、体に良いだけでなく、「腕・足・胸」等の体の部位を表す言葉や、「右・左・前・後」等の位置詞、「あげて、まわして、のぼして」等の指示表現と、実習生の皆さんが習得すべき基本語彙・指示表現が、ギッシリつまった宝箱のような教材であることが分かりました。毎朝一緒に体操する先生の健康増進にも繋がるので、なんと一石三鳥！

今後も継続して取り入れていく予定です。

今月の実習生

夕焼けから
紫の海
白い月
趙輝



今月は、中国人実習生の趙輝（チョウ キ）さんを、紹介します。趙さんの趣味は、「短歌」を詠むこと！来日前に約2年間の日本語学習期間があり、日本語の基礎がしっかりしているとは言え、「短歌」を詠むのは至難の技。自己紹介時にそのことを聞いた時は、正直信じられませんでした。その後、趙さんの趣味のことは、すっかり忘れていたのですが、日本語講習が修了し、いよいよ技能実習に旅立つ時に、「先生、先日、私が呼んだ歌です。聞いてください。」と言って、私の目の前で詠んでくれたのが、左に紹介している歌です。休日の夕方、寮周辺を散歩中、空を見上げた時に浮かんできた歌だそうです。その風流さに、しばらく呆気に取られてしまいました。趙さんは、今も実習先の山口県で、日本の花鳥風月を沢山の歌にしていることでしょう。

あじけん流日本語授業

今年最初の「あじけん流日本語授業」は、新年早々ですが、番外編として、本校日本語講師陣が直面してきている「困った問題」について、お届けしたいと思います。それは、下の1～3の写真でご覧の通りの「カンニング問題」です。

本校では、講習開始時に行なうレベルチェックテスト、講習7日目を目安に行なう中間テスト、講習修了前に行なう修了テストと、日本語講習中に3回の定期テストがあります。また、基本語彙の定着のために名詞・動詞形容詞の小テストも、適時実施しています。これらのテストは、実習生の皆さんの日本語の習熟度、学習内容の定着度を把握する上で、非常に大切な評価活動となっています。ところが、テストの趣旨を履き違え、「先ずはさておき、結果が第一」との考えから、不正を行なっても「結果」を残そうとする実習生が少なくありません。その手口は様々で、最も多いのが、テスト監督の先生の目を盗んで（時には堂々と！上の写真参照）、前後左右のクラスメイトの答案を写す行為です。その他に、机の中に開いたノートを読ばせる（写真1）、消しゴムに勉強させる（写真2）、手に勉強させる（写真3！）等、「結果」を残すためなら労を厭わない実習生には頭が下がるほどです。しかし、講師陣からは、毎回カンニングが発覚するたびに「この労力を単語を覚えるために何故使おうとしないのか……。」と、ため息交じりの言葉が漏れてきます。また、日本語学校ならではの「母語で答えを教え合う」という荒業もあります！最近では、実施後は回収が基本となっている定期テストの用紙を、回収前にスマホでパシャリ！という後輩思い？のデジタル犯もいました。いずれのケースにせよ、本校では、これらの不正行為を、真の日本語力の向上のためには「あってはならない行為」と捕らえ、先ずは、入寮時のオリエンテーション（実習生の母語で実施）時に、厳重注意を呼びかけています。また、このような不正行為を未然に防ぐため、テスト類は可能な限り大教室へ移動して、隣席との距離を開けて実施する等の対策を講じております。それでも不正行為があった場合は、本人の同意の下に再テストを実施。何度も行なう実習生がいる場合には、受入れ団体様にその旨を連絡させていただくこととしています。今年もイタチごっこは続きそうですが、実習生の「真の日本語力の向上」の為に、実習生の皆さんとの根競べ？知恵比べ？に取り組んでいきたいと思っております！



写真1：机の中にこっそりと……

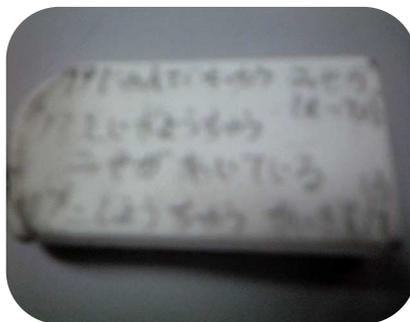


写真2：消しゴムにお勉強！



写真3：お釈迦様の手ではありません

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。